

市長とのかがやきライフトーク

と き：平成19年7月11日（水）

と ころ：スイトピアセンター 学習館 4階 婦人会室

対話団体：大垣市連合婦人会（10名）

対話テーマ：地域と婦人会活動の課題について



【対話内容】

【婦人会】

自治会と婦人は、以前は、両輪ですと言われていましたが、近年、婦人会離れが進んでいるように思います。

【市長】

自治会と婦人は、今後とも良きパートナーとして取り組み、車の両輪として地域を支えて行って欲しいですね。

【婦人会】

全部の校下に婦人がないのが残念です。

一度、組織を廃止すると、再建するのは非常に難しいです。

行政の指導・PRなどの協力をお願いします。

婦人会単独の行事をやっても、なかなか人が集まらないのが現状です。

【小川市長】

婦人会は、まちのエネルギーの源であり、婦人会の存続は、私の願いですし、増加して欲しいと思っています。

婦人会の灯は消してはいけないと思っています。

【婦人会】

マイバッグ運動を以前から大垣市連合婦人会として取り組んできました。

やっと、岐阜県も大垣市も動きはじめており、大変うれしい。

今後、運動の効果が上がってくると思います。

【小川市長】

地球温暖化は大きな問題であり、非常に重要です。

今後とも、レジ袋ないない運動と一体のマイバッグ運動を大垣市連合婦人会として推進してほしいですね。

いきなり、レジ袋有料化は難しいと思いますので、レジ袋ないない運動を展開し、徐々に有料化へ進めていけるとよいと思います。